

2024年度 公立大学法人大阪第7回役員会議事要旨

日 時：2024年12月11日（水）9時30分～10時50分

場 所：阿倍野キャンパス医学部学舎1階応接室

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、重松理事、
中村理事、宮部理事、帯野理事、藤本理事、藤沢理事(オンライン)

監 事：白井監事、前田監事

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、
富宅医学部・附属病院事務局長、千田総務総括部長、柴山企画総括部長、船野学長室長、
石田総務部長、森岡企画部長、寺田医学部・附属病院事務局事務部長、片山総務課長

【報告事項】

1 2024年度入試 入学志願者分析および入試改革等について

担当理事より、2024年度入試 入学志願者分析および入試改革等について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・大阪府市が設立団体である大学であるので、教育委員会と連携し高大接続の取り組みを強化できないのか。
→大学として全て把握しきれていないが、教員が個人で各高校と連携して講座の実施やプログラムの提供等を行っているので、組織として持続可能な状態でより発展させていきたい。高大接続や探究力育成といった実際のプログラム開発の段階から既に各高校とは関わっており、高校側の教員の意見を取り入れながら進めている。
- ・リーダーシップやアントレプレナーシップ等の評価についても、入試段階で組み込むことができればさらに良いのではないか。
→現在の面接試験において、リーダーシップや協調性、共感力等の非認知能力が必要とされている。いただいたご意見もふまえ、今後検討していく。
- ・企業からは総合型選抜入試で合格した学生の需要が高まっている傾向であり、また、総合型選抜入試の割合が高い大学との連携を期待する企業もある。入学後に学生が離脱しないよう、未来の人材育成のため、果敢に外部の力も活用して注力していただきたい。

2 OMU職員人財育成体系について

担当理事より、OMU職員人財育成体系について説明がなされた。

<主な意見等>

- ・対象となる職員は何名なのか。
→500名程度である。
- ・特定の分野において専門性が高い職員については、ローテーションせず、能力を求める所属に配属される仕組みになっているのか。
→本法人では教育研究サポート部門と法人管理部門の大きく2つに分けられ、大学全体の最適化のためには2部門間のローテーションを行うことを基本とする。
組織の専門性向上のため、求められる能力を有する職員については特定の部署に配属することもあるが、特に高度な専門性が求められるものについては、外部委託も想定している。

3 産学官民共創推進室・未来都市創生部門の活動報告（2024年度）について

担当理事より、産学官民共創推進室・未来都市創生部門の活動報告（2024年度）について説明がなされた。

<主な意見等>

・技術移転やライセンス契約等を産業界と円滑に進めていくためには、民間企業経験者を部門のリーダーとして配置し、URAセンターや技術移転推進オフィス等のスタッフを適切に指揮命令・評価して運営できる仕組みにしていきたい。

また、知的財産等の専門的な知識や営業能力が必要となるので、成果を出した者には成果報酬として昇進できるような制度を作り、組織を活発にしていきたい。

→産業界との連携について技術移転推進部門が積極的に取り組んでおり、当該部門のリーダーへの権限委譲やスタッフの体制強化等についても議論している。知的財産の事業化のためには産業界との連携が必須であり、URAという職種を研究シーズと社会課題を結び付け、より高度なミッションを達成できる共創コーディネーターや共創プロデューサーという人材に育成していくことが次の目標である。

4 2024年度上半期 医学部附属病院収支報告について

担当理事および医学部・附属病院事務局事務部長より、2024年度上半期 医学部附属病院収支報告等について説明がなされた。

<主な意見等>

・非常勤職員への勤勉手当とはどのようなものか。また、医師の働き方改革により、実際の収入は減額されているのか。

→非常勤職員への期末および勤勉手当については、月数分の一律支給となっている。

働き方改革については、医師の時間外労働時間を抑制すべく、多職種で医師の負担軽減に取り組んでいる。救命救急センターの医師は、時間外労働時間の減少により収入が減少する場合もあるが、理解を得られるように進めている。

【その他事項】

1 本部機能集約について

本部事務機構長より、本部機能集約について説明がなされた。UR 森之宮ビル（大阪市城東区森之宮一丁目6番85号3階）を2024年12月25日に開設し、登記上、2025年1月1日付で主たる事務所を移転することが確認された。併せて次回以降、役員会はUR 森之宮ビルで開催する旨、予告があった。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上